

## 第 15 号(2009.08.28 配信)

この数ヵ月、昭和の話、海国日本の話など、ややカタめの歴史ものや論説調が続いたので、今回は、日常的、実用的なテーマを考えました。氏名の文字=漢字の告げ方・示し方の話をします。外国人と話す場合の例を含め参考に供します。

ここ「国際協力サロン-Together」のサポーターは、国際協力人材派遣を事業の支柱の一つとする(株)VSOCです。その代表取締役社長である吉満博さんにまず登場願ひましょう。

「ヨシミツ」という名字は、さほど多くはないけれど、文字で書けば、義光、芳光、吉光など幾つかあり得ます。初対面の場合は名刺交換すればすぐに分かりますが、電話ではそうはいきません。吉満さんは、電話の相手に「キチ、マンと書きます」と告げています。さらに「ダイキチ(大吉)の吉、マンゲツ(満月)の満」と付け加えれば完璧です。名前の「ヒロシ(博)は八カセ(博士)の博」で十分でしょう。

サロンの庶務・管理担当の志岐さんに、あなたの場合は？と尋ねると、告げ方・言い方に気を使う場合もあるそうです。通常(シキ)さんといえば、式の1文字の方が多く、地名・駅名の志木もある。「ココロザシ(志)と分岐点のキ(岐)の2字」と言っているそうです。「キ(岐)は山ヘンに支える」と付言することもある、とのこと。「岐阜県のギ」だと「シギ」さんになりかねず、「岐阜」自体を書けない若い人もいそうですね。

皆さんもそれぞれ、吉満さん、志岐さん同様、ご自分の氏名の告げ方は決めておいででしょう。私は、要件で電話を掛け、相手が不在だとメッセージを頼み、応答に出た方に名前を尋ねてメモしておくことがよくあります。後刻、役に立ちます。鈴木、田中、佐藤、高橋など“多数派”は簡単です。大山、中田、小林、等々、日本人の名前は、地名や土地に関係ある呼び名が8割以上ですから、難しさはさほどないでしょう。

日本人同士であればよいが、外国人との話となると、ローマ字での表示を正しく伝える必要があります。また、メールアドレスは、英字が主ですから、友人や仲間同士でも間違いなく知らせ合わねばなりません。再度、吉満さんを例に大文字で記しますと；

「YOSHIMITSU」は長いですね。私の好みでいうと、相手に即座に分かるようにするには固有名詞を使うのが便利です。Y for Yokohama、O for Osakaは無難だけど、S for Saitamaはどうか？外国人に、横浜、大阪はよいとしても、S for Singapore、H for Hong Kong、I for India、...など、国名や、あるいは外国のよく知られた首都名の方が分かりやすい。けれども外国人も一様ではありません。中南米の人々が、アジア、アフリカの国名を熟知していない場合もあり、逆もまた真かもしれません。国名、首都名はJICA関係者やOB、OGだからこそ分かりやすいといえるかもしれません。

万国共通の表現はないのかな？と調べていたら、英語学者の友人が、英国人の実例を教えてくださいました。長年、国際電報に活用されてきた表現法でした。日本流でいえば「アヤメのア、イロハのイ」に相当する簡便な方式です。これなら、外国人向きに活用できると感じました。言葉も使いたれた平易なもの。中学生だったら誰でもわかると思います。ただし英国人の人名が多い。よく知られた名前ばかりですから、抵抗はありませんが。

以下に、英国人の実例を、A から Z まで記しておきます。試してみて、much better な方法があれば、ご意見やご提案をお願いします。さっそく私もやってみました。人名だけを、別の、よく知られた国名や都市名に代えてみたのです。( )内が、私の代案です。しよせん、すぐに分かって使い慣れるのが肝心ですから。

A for Apple  
D for Dover (Denmark)  
G for George (Germany)  
J for Jack (Japan)  
M for Mother  
P for Peter (Poland)  
S for Sugar  
V for Victor  
Y for Yellow

B for Brother  
E for Edward (England)  
H for Harry (Hong Kong)  
K for King  
N for Nerry (Norway)  
Q for Queen  
T for Tommy (Tokyo)  
W for Willy (Washington)  
Z for Zebra

C for Charlie (China)  
F for Farther  
I for India  
L for London  
O for Orange  
R for Robert (Russia)  
U for Uncle  
X for Xmas

(8月25日記。国際サブロー)